

日常の生活指導案

令和元年10月3日（木）

特別支援部会の重点

特別支援部会では、子どもにつけたい力を以下のように考えている。

- ・「喜んで働く子ども」「自らねばり強くやり抜く子ども」を育成するために、児童が主体的に「できる」環境を整え自己肯定感を持たせる。
- ・主体的に行動するには見通しを持たせることが必要なので、パターン学習を取り入れ、教材・活動内容の工夫をすることで、達成感を持たせる支援を行う。

このことから、「主体的に考え、自分なりの考えをもって判断し、行動できる児童・生徒の育成～教材・活動内容を工夫した支援のあり方～」を研究主題に設定し、研究主題に沿った支援のあり方を踏まえた授業を行い、児童・生徒の実態を交流し、指導方法を検討する。

1. 単元名「朝の会をしよう」

2. 目標

- ・日常生活の中で必要な事柄（自分のこと、月日、曜日、天気等）を身につける。
- ・人と関わるために必要なコミュニケーションの基礎の力をつけ、人との関わりを楽しむを知る。

3. 指導観

社会で生きていく上で必要な事柄（自分の名前、年齢など）を今までの生育歴の中で、身につかずに育ってきているため、朝の会の活動の中で、毎日繰り返すことにより自然に身につくことを目指している。

【削除】

声に出して、自分を表現できるようにするために、朝の会では、①自分のこと、身の回りのことを知る②コミュニケーションの力をつける ことに重点を置き活動を進めていく。

①では、毎日、質問形式で自分の名前、年齢、誕生日を言う活動を繰り返し、自分自身のことを言えるようにする。ホワイトボードにカードを貼りつける活動や健康調べなどの活動を通して、毎日、繰り返し声に出すこと、カードの操作や文字での記入により、日付、曜日（月～日～曜日）、天気、カレンダー、時間割など、日常生活に関わる事項を自然に身につけられるようにしていく。

②では、日常的な挨拶をきちんと声に出して言えるように、担任や支援員がゆっくりはっきりとしたお手本を示し、復唱から自分の言葉で挨拶ができることを目指している。多くの先生方の協力を得ながら、挨拶をする機会は増やしていく。朝の会の質問コーナーでは、自分自身のことについての質問を毎日繰り返し行い、「～ですか？」の質問に「～です。」と答えられるようになってきているが、発音の不明瞭さや発語できる単語の量が少ないため答えられることが限定してしまっている。そこで、単語付き絵カードの中から自分で選び、答えることで言葉のレパートリーを少しずつ増やしていく。

【削除】

5. 単元計画

- ・年間を通して、毎日同じ活動を繰り返しながら、スモールステップで児童の発達に応じて、内容をレベルアップし、項目を増やしていく。

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 日常生活の中で必要な事柄（月日、曜日、天気等）を身につける。
- ・ コミュニケーションの基礎となるように、元気に声を出せるようになる。

(2) 本時の展開

学習活動	教師の働きかけ・支援	指導上の留意点
① あいさつ ・ 元気よく朝の挨拶をする。	◆教師が、朝の会の司会進行をする。 ○「これから、朝の会を始めます」	・ 正しい姿勢で座る、気をつけの姿勢などの声かけ。
② 朝の歌 ・ 「コケコーッコーのうた」 ・ 季節の歌、簡単な童謡、全校合唱の歌など、元気よく歌う。	○まねできるように、一人一人の顔を見ながら、ゆっくり言うようにする。 ○楽しく歌えるように、踊りのお手本になるように一緒に踊る。	・ 言葉を聞き取ったり、まねしやすいように、ゆっくりはっきり発音したり、言葉を区切って言う。
③ 出席 ・ 名前を呼ばれたら、手を挙げながら元気よく返事をする。	○元気よく手をあげたら、褒めてハイ、タッチをする。	・ 人の時まで手を挙げてしまうので、自分の番まで待つように声かけをする。
④ 日づけ、曜日 ・ ホワイトボードに書かれた日付を見ながら、声に出す。 ・ 出席カードにシールをはる。	○ホワイトボードに掲示された日付をゆっくりまねできるように、声に出して復唱させる。 ○今日がカレンダーのどこなのか気づかせる。	・ 正しい発音、正確な言葉になるように声かけをする。 ・ カレンダーを意識が行くような掲示や声かけを行う。
⑤ お天気調べ ・ 窓の外を見ながら、今日の天気を発表する。	○窓の外を見て、天気が答えられるように声かけをする。	・ 「晴れ」と答えることが多いので、雲がいっぱいのは「曇り」空が青いときは、「晴れ」のようにわかりやすく声かけをする。
⑥ 時間割 ・ ホワイトボードを見ながら自分の時間割を発表する。	○一人一人の時間割を声に出していえるように、復唱させる。	
⑦ 朝のポエム ・ 教師が読む詩を聞く。	○毎日繰り返し読んで、覚えるようにする。	・ 楽しそうで簡単な詩を静かに聞けるようにする。覚えられるように、継続して同じ詩を聞かせるようにする。
⑧ 質問コーナー ・ 質問されたことを答える。 名前、年齢、好きなもの（色、食べ物、動物など）	○自分の名前が出てこない時は、復唱させながら声に出させるようにする。 答えられたら、ハイタッチをする。	・ 「～です。」と答えられるように、繰り返し練習していく。正しく答えられるまで、同じ質問を毎日繰り返す。
⑨ 健康調べ ・ 健康カードに、日付、天気などを記入する。 ・ 職員室の先生に、カードのサインをもらいに行く。	○なぞり書きができるように、マーカーで下書きをする。 ○出入りの挨拶や先生方へのサインのもらい方を傍で声かけを行う。 ○最後は、座って挨拶できるように声かけや椅子に座れるように促す。	・ 日付や天気などを確認しながら書かせる。 ・ 職員室の出入りの仕方、挨拶は、一緒に声を出しながら練習していく。
⑩ 終わりのあいさつ		